業績リスト(過去3年)

*(1. 著書

2. 論文)

3. 訳書

4. 研究ノート

5. 書評

6. 調査報告書

7. その他文筆活動 8. 作品発表

9. 学会発表

10. 講義・講演

11. テレビ・ラジオ等出演 12. 公的活動

13. 研究助成採択 14. その他

*(1. 著書 2. 論文)は別途掲載

奥村 裕 (おくむら ゆう) (理学療法学科 准教授)

2023年

13. 研究助成採択

研究代	表者	研究助成者	研究題目	研究年度	助成金額 (万円)	分担者 (含他所属)	
奥村	裕	科学研究費	関節リウマチ由来滑膜細	R2∼R4	416	浅田啓嗣(鈴鹿医療科学大学)	
		基盤研究	胞のメカニカルストレス受			髙木 都(奈良県立医科大学)	
		(C)	容メカニズムの解明				
		概要(薫英研究費・無)					
		本研究では、関節リウマチ由来ヒト滑膜細胞と正常ヒト滑膜細胞に対して、関節にかかる代表					
		的わ色帯の力労的制敵を加えた際の知的由シガナル仁法奴敗な地跡於計せファレバトュデ「則					

的な負荷の力学的刺激を加えた際の細胞内シグナル伝達経路を比較検討することによって、【関 節リウマチ由来滑膜細胞のメカニカルストレス受容メカニズム】を解明することを目的とする。

2022年

3. 訳書

・Judith Aston(原著)/武田功,弓岡光徳(監訳),<u>奥村裕</u>(共訳)。「ASTON 姿勢評価法 身体パターンを評価 するための新しいパラダイム」医歯薬出版株式会社. 2022

3. 研究助成採択

研究代表者	研究助成者	研究題目	研究年度	助成金額 (万円)	分担者 (含他所属)	
奥村 裕	科学研究費	関節リウマチ由来滑膜細	R2∼R4	416	浅田啓嗣(鈴鹿医療科学大学)	
	基盤研究	胞のメカニカルストレス受			髙木 都(奈良県立医科大学)	
	(C)	容メカニズムの解明				
	概要(薫英研究費・無)					
	本研究では、関節リウマチ由来ヒト滑膜細胞と正常ヒト滑膜細胞に対して、関節にかかる代表					
	的な負荷の力学的刺激を加えた際の細胞内シグナル伝達経路を比較検討することによって、【関					
	節リウマチ由来滑膜細胞のメカニカルストレス受容メカニズム】を解明することを目的とする。					

2021年

3. 研究助成採択

٠.							
	研究代表者	研究助成者	研究題目	研究年度	助成金額 (万円)	分担者 (含他所属)	
	奥村 裕	科学研究費	関節リウマチ由来滑膜細	R2∼R4	416	浅田啓嗣(鈴鹿医療科学大学)	
		基盤研究	胞のメカニカルストレス受			髙木 都(奈良県立医科大学)	
		(C)	容メカニズムの解明				
		概要(薫英研究費・無)					
		本研究では、関節リウマチ由来ヒト滑膜細胞と正常ヒト滑膜細胞に対して、関節にかかる代表					
		的な負荷の力学的刺激を加えた際の細胞内シグナル伝達経路を比較検討することによって、【関					
		節リウマチ由来滑膜細胞のメカニカルストレス受容メカニズム】を解明することを目的とする。					